

令和4年度 学校関係者評価結果報告書

学校名	成田市立公津の杜中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」～自身をもって生活することを目指して～

- ・「公津の杜中でよかった」と心から言える生徒
- ・自ら粘り強く学習に取り組む生徒（知）
- ・気持ちのよい挨拶、返事、清掃、合唱を大切にしている心豊かな生徒（徳）
- ・心身ともに健康で、自他を認め大切にできる生徒（体）

学校関係者評価委員

(敬称略)
村岡 竜司
生田目香代子
横田 綾子
石川 智
竹尾 裕之

2 本年度の重点化された具体的な目標

経営の重点目標

(1) 認めほめて伸ばす指導 (2) 生徒指導の充実

(3) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 (4) 特別支援教育の充実

(5) 学年・学級経営の充実 (6) 学校、家庭、地域の連携

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況 自己評価	改善の方策	学校関係者評価	
					自己評価 の適切さ	改善に向 けた取組 の適切さ
教育方針 教育課程	学校経営方針に基づき、教職員の協力により円滑な学校運営がなされている。	教職員の肯定的評価 94.3%	B	経営の重点である「認めほめて伸ばす」方針を一層推進する。特に、教職員間で情報を円滑に共有し、組織的に称賛できるよう体制を強化する。	A	A
	子供は「公津の杜中でよかった」と感じていますか。	保護者の肯定的評価 90%	B			
学校関係者による意見等	学校経営方針が明確で教職員が目標達成に向けて努力していることがうかがえた。生徒の中に確かに「自信」が芽生えていると感じた。					
学習指導	先生は学習で自分が努力したところを認めてくれる。	生徒の肯定的評価 92%	B	生徒間の活動の工夫と、タブレットを効果的に活用する。授業の中で生徒の努力を認めほめるとともに活躍の場をつくるよう進めていく。	A	A
	自ら進んで、粘り強く学習に取り組むことができている。	保護者の肯定的評価 66.2%	B			
学校関係者による意見等	学力の高さが教職員の努力となるよう期待する。タブレット活用の工夫と個々の努力を認めているところがよい。					
安全・安心な学校	登下校指導を含め交通安全指導について努力している。	保護者の肯定的評価 91.2%	B	登下校の交通安全を重要課題に位置づけ、安全教育を充実させる。また、いじめや暴力に対するアンケート、教育相談を大切に実施する。	A	A
	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	保護者の肯定的評価 74.6%	B			
学校関係者による意見等	いじめ問題にアンケート回数を増やすなど努力がうかがえた。交通安全指導に力を入れている様子がうかがえた。					
生徒指導	自分なりにがんばったことを先生が認めてくれてうれしかったことがある。	生徒の肯定的評価 88.6%	B	認めほめていく体制を強化する。問題や不安、不適応等の解消に向け、「勇者の旅」プログラム(千葉大による不安解消のための年10回の授業)の一層の充実を図る。	B	A
	問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	教職員の肯定的評価 88.6%	B			
学校関係者による意見等	経営方針が浸透してきている。認めほめ、共有し広げ伸ばすというマネジメントが職員に共通理解、同一歩調につながっている。不安解消プログラム「勇者の旅」の授業を見学したい。					
特別支援教育	特別支援教育の理念を踏まえ、障がい等の特性をよく理解して個々の教育的ニーズに応じた教育活動を行っている。	教職員の肯定的評価 88.2%	B	個の特性を十分に理解して組織的な対応を目指す。特別支援学級と通常の学級の生徒が自然に交流できるよう職員の関わりを大切にしていく。	A	A
学校関係者による意見等	特別支援学級との交流を大切にしていくことで、より理解が深まって行くものと思う。					
家庭・地域との連携	子供のことで気になることがあったとき、学校に相談しやすいと感じる。	保護者の肯定的評価 74.6%	B	相談体制を一層充実させるとともに、保護者のニーズを意識した情報発信に努める。学校だよりは月2回を目安に発信する。	B	A
	各種便りや学校HP等で学校の様子や進路情報などの必要な情報を得られる。	保護者の肯定的評価 83.4%	B			
学校関係者による意見等	コロナ禍であり、保護者、地域との関わり合うことは難しいところがあるが、情報発信に努めていくことは大切なことである。					

4 次期の重点目標と改善のための方策

○次期の重点目標

生徒が「公津の杜中でよかった」と感じられるよう、認めほめる指導の充実

- ・生徒のがんばり、地道な努力を見逃さず認めほめる
- ・職員が情報を共有し、多くの職員で認めほめる
- ・生徒の活躍の場を意図的に設定し認めほめる

○改善のための方策

- ・生徒指導における生徒理解の充実と組織的対応の徹底を図る。毎週の生徒指導会議において、生徒のがんばりなどの情報共有を行い、各学年に伝達していく。毎朝の学年打合せや回覧等を通じて、生徒のがんばりなどの情報共有を行う。
- ・認めほめる機会を意識した指導方法の工夫改善を図る。タブレットを活用した授業を推進する。
- ・特別支援教育の充実を図る。特に、特別支援学級と通常の学級の連携を大切にしていく。